

James Molloy - MIRA Newsletter #18

JIMのみしまものがたり⑱

素晴らしき季節かな、秋

凜として澄んだ空気の中、足下の落ち葉を踏む音に耳をかたむけながら散歩するのは格別なものです。

加えて、この季節ならではの魅力的な味覚と香りときたら。完璧な焼き具合の秋刀魚をぱくりと一口。炊きたてほかほかの松茸ご飯に、周囲に漂う甘くて芳醇な香りを楽しみながら味わう焼き栗…想像するだけで、もうたまりません。

ああ、まさに秋たけなわですね…

いつか海外から日本を訪れた友人と秋の味覚を楽しむ機会があった時のために、秋刀魚は“pacific saury”、松茸は日本語と同じ“matsutake”と知っておくと役に立つかもしれません。

では、栗は英語で何と言うかご存知ですか？

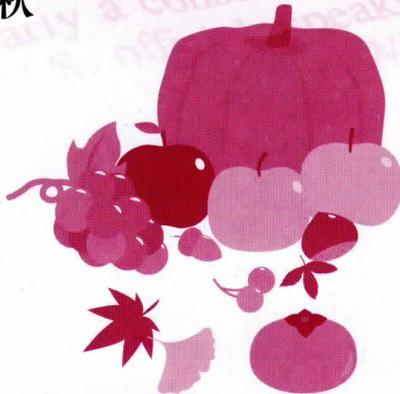
英語で栗は“marron ~ マロン”だ、と答える方も多いのではないのでしょうか。しかし残念ながら、「マロン」と聞いて栗だとわかるのは英語のネイティブ話者ではなく、私の友達の中ではカナダ人とフランス人です。マロンの語源は「紅褐色」という意味のフランス語で、ほかに「栗」の意味があるのです。

正解は“chestnut”です。そして、英語でも赤っぽい茶褐色を表現するのにこの単語を使います。

実際、フランス語がどのくらい一般的な日本語として使われているのでしょうか？ 思いつくものを挙げてみてください。

ピーマン、アンケート、バリカン、バカンス、ペンション、シュークリーム、ズボン…と答えたあなたは正解です！

それでは最後にまた問題です。英語では上記の言葉をそれぞれ何と言うのでしょうか？



NO.
7

多文化共生社会の実現に向けて

身近な外国人との コミュニケーション

～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近な外国人と話してみませんか。

7月の閣議決定、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(検討の方向性)(案)の「はじめに」では、「外国人を、孤立させることなく、社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立ち」「受け入れる側の日本人が共生社会の実現について理解し、協力するように努めなければならない」とあります。また国内に住む外国人の6割は簡単な日本語を理解できるという調査結果から、外国人が日本語を学ぶことに加え、日本人も「やさしい日本語」を知ることで、多文化共生社会に近づくと考えられます。

「やさしい日本語」の目安は、小学校3年生が分かるレベルです。ハサミの法則(はっきり話す、最後まで言う、短く区切って伝える)を使って、ゆっくり話すと言わりやすくなります。今度、外国から来た人と話すときに、試してみてくださいね。